

特集

景観計画の作り方

2008年5月、新宿区が景観行政団体になった記念シンポジウム「新宿発〜景観を守り育てる方法」に参加したときの感動を今も忘れない。落合地区、筆筒地区、四谷地区など区内を10のエリアに分け、各地域の景観特性を洗い出し、可能性を探り、これから協働で景観計画をつくるぞ〜という意気込みを感じた。

今年3月、大田区のシンポジウム「大田区ならではの景観づくりを目指して」では、景観行政団体を目指し、地形、地域の特徴、自然・歴史・生活文化それぞれの景観特性という視点から分析し「ならではの」を探そうとしていた。両シンポジウムは、ある程度形が見えてきた段階とまったく手探りの段階の差はあったが、ともに区の内外から200人ほどの参加者を集めながら、地域に暮らす人の視点で景観特性をとらえ守り活かそうという目的がはっきりと見え、また手法も目的に添って良い集会だったと思う。

今、文京区でも景観行政団体を目指して景観計画を策定中で、3月に骨子を策定し、根津1ヶ所を景観形成重

点地区に指定してモデル的に景観づくりを検討しようとしている。文京区では2000年から19界隈の町並みの特徴をガイドラインとして景観誘導をしてきたのに、1ヶ所では多様な景観のモデルにならないという、まちのまとまりが崩れているので界隈は廃止して各特性で作り、「まずは1地区、うまく行きそうな地区を定めてやってみて、それを見てもらうのが第一歩。私たちのまちでもやってみようという意識が高まり広がっていく波及効果を狙っている」というのだ。しかしその手法は、根津2丁目21〜26番、30〜35番などと細分化し、居住又は営業・土地又は建物を所有・商店会に参加しているなど条件をしぼり、「対象でない方のご来場はご遠慮いただきます」と、ごく限定された人だけで話し合い、傍聴も禁止ということも。権利制限に関する個人情報があるという理由だが、権利問題に関する部分だけ別室でやるなりいくらでも工夫はできるはずだ。景観づくりは本来文京区全体のまちづくりの問題、波及効果を狙うのならことさら、検討過程を見せながらオープンに考えようという姿勢がほしい。できあがりを見ただけでやってみようとは思えない。文京区ならではのこの閉鎖的的手法がせつかくの19界隈をなし崩しにしてきたように思う。



余談ですが・・・

40年前の5月15日、沖縄がアメリカから日本に返還されました。その日、大学生だった私は初めてパスポートをとり、復帰式典に参加する祖父のお供で沖縄に渡りました。私財を投じ、沖縄の本土復帰に心血を注いだ祖父の姿を見て育った私は、本土との一体化を素直に喜び疑いませでしたが、あとから聞くと、当時独立やアメリカ帰属を望む意見もあったようです。今、八重山での教科書採択や尖閣諸島の領有・所有の問題を見るにつけ、長い歴史の中で覇権主義に翻弄され、基地を押しつけられ、本国に信頼がおけずずっと虐げられてきた琉球・沖縄の疎外感を改めて思い知ります。中国脅威論を背景に、島部では自衛隊配備や尖閣買上げ歓迎の風向きですが、それは原発誘致同様、弱い自治体が主体的に手を上げるよう仕組まれた擬制の構図です。融合とつながりの文化を持つ辺境の人々の頭越しに、遠く離れた中央政府は支配と差別の論理で操作しようとしていますが、領有に関係なく台湾漁民と入り会ってきた国境の島には、軍備より文化的つながりが似合います。

復帰40周年記念BINGATA展@サントリー美術館6/13〜



▲宿場に似合うよう駐車場や自動販売機もおめかし 5/16

●観光客のためでなく、子孫に自慢できるような、歴史あるまちを残そう
●区と商店街、NPO、任意団体などがうまく連携し、知恵を絞って、さまざまなニーズにしっかり対応

旧東海道品川宿 まちづくり視察

高齢者の多様な住まい方 視察 4/25〜5/1

●特養、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、サービス付高齢者専用賃貸住宅（グループリビング）
●北区立特養「清水坂あじさい荘」▼身体拘束なし、以前の生活スタイルの尊重
●医療・介護連携型モデル「あやせコミュニティパーク」
高齢化し介護度が上がっても自分らしくいられるために、よりよい介護を模索します！



藤原 美佐子 レポート



〒113-0024 文京区西片2-8-24 TEL/FAX 03-3811-0980
E-mail info@m-fujiwara.net URL http://m-fujiwara.net/
市民の広場・文京 区議会控え室 TEL/FAX 03-3816-2629

品質志向の区政運営で安心を紡ぐ 2012 予算成立

◇2012年度予算成立	1面
◇区議会第1回定例会報告	2,3面
◇新たな公共の担い手	2面
◇電力・放射線情報	3面
◇特集 景観計画の作り方	4面
◇活動報告 広場セミナー	1面
台東区復興小学校活用事例視察	3面
高齢者の多様な住まい方視察	4面
旧東海道品川の宿 視察	4面
◇余談ですが…沖縄復帰40年	4面

695億円（前年704億△1.3%） 一般会計予算に反対しました

基金の昨年度残高総額は587億円

全体に緊縮予算の中で増額されたのは、●災害対策費●私立幼稚園助成費（3歳児保育と預かり保育の充実）●施設管理費（総合体育館・福祉センター・教育センター・千石拠点施設・シビック改修など）●介護保険費●老人福祉などの福祉費●道路・橋梁維持費●公園緑地費（8年ぶりの緑地実態調査、公園再整備など）●市街地再開発費●密集住宅地整備促進・耐震改修促進費など。

必要のない緊縮で必要な施策が削られる

一方減額の方は、各部一律5%の枠配分予算の前減で総額5億円の節約、人員削減、人件費抑制、土木・建設コスト削減など行き過ぎが心配な面があります。昨年度当初予算で44億円計上した財政調整基金取り崩しは最終的に約半分ですみ、基金残高は前年並みでしたが、本年度も意図的に39億円の取り崩しを計上。

修正案を出しました

重要課題優先型かつ大規模施設投資型の予算ですが、千石子育て支援施設や教育センターでは、制度設計段階で利用者からの疑問・要望も多く、高齢者の住宅政策・在宅介護のための施策の不足など、本当に区民の望む品質なのか、安心を紡げるかが疑問です。市民の広場は上記の点や認証保育所保育料助成などを盛り込んだ一般会計予算修正案を提出しましたが、否決されました。

原発ゼロの日本が 盛夏に向けて

廣々とすすんでいく

私たちは 子どもたちの未来のために

足元を踏み固め 二度と踏みはずさぬ

よう 私たちに今できることを

ひとつひとつやっていこう



市民の広場セミナー 3/27 「介護保険はこう変わります！」

♥「文の京」ハートフルプラン

《高齢者・介護保険事業計画》12~14年度

ノーマライゼーションの理念

- 誰もが尊重され 自らの意思で選択し 自立し支え合い 住み慣れたまちで健康に安心して暮らせる地域社会
- 高齢者安心相談センター（旧地域包括支援センター）機能強化
- 安心見守りネット ■多様な住まい方（特養・グループホームなど）
- 地域密着型在宅介護サービス（定期巡回・24時間対応訪問介護看護など）
- 介護保険料（平均23%）後期高齢者医療保険料（平均10%）値上げ



セミナー講師 介護保険課長（右）

市民の広場は一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療保険予算に反対、一般会計修正案、介護保険予算に賛成しました。